

1 「第4次長期経営計画」スタート

しがぎんは、平成22年4月から平成25年3月までの3年間を計画期間とする「第4次長期経営計画」をスタートさせました。「～NEXT STAGEへの挑戦～“対話力”強化による更なる共存共栄を目指して」を基本ビジョンとして、金融環境が激変するなかで持続的な成長を遂げるため、計画期間を通じて滋賀県を中心とする地元を有する地方銀行ならではの“強み”を更に充実するとともに、「高い付加価値を提供できる金融サービス業」としての態勢を一層強固にしていくことにより、地域での存在感を高めてまいります。

今次長期経営計画においては、お取引先との相互理解を図るための「対話力」の更なる強化に取り組みます。きめ細かい対話を通じてお取引先を一層“熟知”し、多様化するニーズを的確に把握するとともに、課題の解決や付加価値の高いサービスの提供に努めます。具体的には、「3つのブランド戦略」(①お取引先の企業価値向上などを目指す「ネットワークのしがぎん」②お取引先のアジアビジネスをサポートする「アジアに強いしがぎん」③環境経営を主軸とする「CSRのしがぎん」)の各分野で多面的な“知恵と親切の提供”に努めます。

“熟知”を基礎とする「対話力」を強化して、時代が求める新しい価値観をお客さまと共有し、「共存共栄」の深化を図ることが当行の「NEXT STAGE」と位置づけ、全行あげて今次長期経営計画を展開し、目標達成に取り組みます。

第4次長期経営計画 平成22年4月～平成25年3月(3年間)

基本ビジョン

～NEXT STAGEへの挑戦～

トップライン強化戦略

高い付加

《3つのブランド戦略》～知恵と親切の提供～

ネットワーク

「エリア営業体制」から

営業戦略

地域密着の徹底による収益力強化 顧客接点重視の営業活動

＜法人部門＞

お取引先の企業価値向上を支援…「商流を起こす・つなぐ」

- ビジネスマッチングをはじめとしたソリューション活動
- 「環境」「観光」に代表される新しい商流構築の支援
- ▷ 質を伴った量の拡大 ▷ リスクベースド・プライシングの実践

＜個人部門＞

しがぎんネットワークでお客さまへのサービスと利便性を向上

- コミュニケーション接点の強化
- 個人預金の獲得増強
- 流動性比率の向上
- 給振、年金、決済口座の推進
- 住宅ローンの推進
- 資産運用コンサルティング能力の向上

現場力の強化

戦略に基づいた人員配置

- 各店別コア人員+戦略的人員の適正配置

店舗コンセプトの明確化

- (県内店舗)
- 地域シェアの維持拡大
- 非価格競争力の確立

エリア内店舗機能

アジア戦略

- 海外拠点と連携し、お取引先のアジアビジネスを積極的にサポート

有価証券運用力の強化

CSR ● 「エコ・ファースト企業」として「環境金融」の推進

生産性の向上

システム投資の可視化

- 投資効果考えたコストの総枠管理
- 情報系システムの活用
- 電子記録債権への取り組み

店舗の効率化

- フルバンクから機能特化型店舗へのシフト
- 効率的な店舗網の構築

本部機能の見直し

- 各別コア人員の検討と再配置(変化に応じた柔軟な人員体制)
- 本部行員の能力開発

長計推進委員会

(長計推進チーム) 戦略的人員配置検討チーム

CSR憲章(経営理念)

地域社会との共存共栄

金融環境が激変する中で、地域社会とともに進化を遂げ、より強靱な体質で持続的な成長を果たすために

“対話力”強化による更なる共存共栄を目指して

与信リスクのコントロール戦略

挑戦指標

- ・Tier1比率(連結)
… 9.0%以上
- ・ROE(連結)
… 3.5%以上
- ・OHR(単体)
… 65%以下
- ・CO2排出量
… 25%削減
(2006年度比較)

コンプライアンスへの取り組み

内部監査の高度化

価値を提供できる金融サービス業の実現

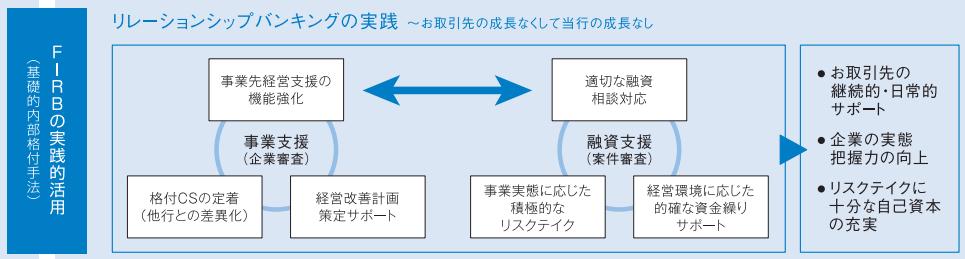
お取引先の企業価値向上 ⇔ 当行の存在価値向上

のしがざん

アジアに強いしがざん

CSRのしがざん

地域の顧客ニーズに応える「エリアマネジメント」へ



FRBの実践的活用
(基礎的內部格付手続)

(県外店舗)
・にしみ出し戦略の浸透
・新たな展開の検討
の再構築

● 海外との商流の創出

- 環境ビジネス支援
- ISO 26000 (SR規格) 導入

- CO2排出量の削減
- 生物多様性保全への取り組み (PLB格付BD)

CSの向上 ● 顧客目線でのサービスの充実

事務低コスト化の実現と事務品質の向上

- BPRの完遂
- 営業店の業務フロー再構築
- 融資事務フローの見直し
- グループ会社へのアウトソーシング

グループ戦略

- 総人員の効率的な配置
- グループ連携の強化
- グループ全体での新たなビジネスの展開
- 新たな職務開発

人材育成

地域社会に貢献できる人材の育成
女性キャリアサポート体制の強化
部下育成・マネジメント能力の強化
若手行員の早期育成、中堅行員の能力開発の強化
潜在能力を引き出す人員配置
ワークライフバランスの実現 (職制見直し等)

国際会計基準 (IFRS) 対応

IRの充実

経費管理体制再構築チーム

システム活用検討チーム

融資BPR推進チーム

役職員との共存共栄

地球環境との共存共栄